

# 私たちの力で沼津駅の高架化を実現しよう



# かけはし

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0832 沼津市御幸町14-5 (沼津商工会議所内) TEL (055) 931-1111(代)・FAX (055) 931-1115

### 主な記事

- 高架本体事業現在進行中!! .....(1)
- 特集：新しい沼津づくりは.....(2)(3)
  - ・静岡県東部の中核都市沼津
  - ・原西部地区の整備
  - ・貨物駅の荷役方式の変更
- 会の動き .....(4)
  - ・会議の開催 (街づくり講座ほか)
  - ・視察見学会
  - ・要望活動 ほか



皆さんの街「沼津」の顔が変身し、新しい姿に日々変わって行きます。

## 高架本体の事業がすすんでいます。(県事業)

### (正式名)連続立体交差事業・用地取得約50%

駅のそばに色々な施設ができ、沼津の良い顔づくりが始まっています。

平成21年2月現在

- 新車両基地用地 約九九%市取得
- 新貨物駅用地 約六九%市取得

平成21年1月現在



沼津市長 栗原 裕 康

鉄道高架事業(連続立体交差事業)によって鉄道敷地がスリム化し、都心に広大な土地が生まれます。既に連続立体交差化を前提とした新しい街づくりが始まっています。

平成14年には、ユニバーサルデザインに基づく沼津駅北口駅前広場が完成し、ロータリーやバスターミナルができました。平成18年には、都市型商業施設BIV沼津が誕生し、オープン以来、沼津駅北口の賑わいの核となっています。また、平成20年には、地下1階、地上20階の再開発ビル「イーラde」が沼津駅南口前にでき、拠点都市沼津をアピールしています。

現在、県と市が、コンベンション施設と展示イベント施設を中心とした新しい交流施設の建設を進めていて、数年後には東部コンベンションセンターが北口駅前に出ることになります。

これらはすべて静岡県東部地域の広域拠点づくりを進めるためであり、南北の有機的なつながりをより強化するのが鉄道高架事業(連続立体交差事業)なのです。

●**鉄道高架事業 連続立体交差事業**

県は、平成18年11月に鉄道高架事業の事業認可を取得し、鉄道高架本体部の用地取得や、鉄道沿線の測量を進めています。

また、市は、大岡方面で高架本体部の北側に東西方向の側道(高架側道7号線)を整備するため、平成20年12月に事業認可を取得し、現在、用地取得を進めています。

●**連続立体交差事業とは**

鉄道高架事業は、連続立体交差事業とも言われ、鉄道と道路との交差点を連続的に立体交差化する事業です。国は、この事業を都市再生のための重要施策として位置づけています。

沼津駅周辺では、連続立体交差事業により、鉄道が高架化され、13箇所が踏切がなくなり、幹線道路8路線が立体交差化されます。

私は、昨年11月に市長に就任して以来、市政の様々な政策課題を推進するため、市職員と力を合わせ市民の皆様のご協力のもと全力で職務に努めております。

現在、国では、道州制についての検討が進められており、本市を含む静岡県東部地域の市町村においても、道州制を見据えた合併についての議論が行われてきました。未だ議論が尽くされたとはいえませんが、私は、静岡県東部地域がさらなる発展を遂げるためには、この地域の市町村が丸となって、中核市、さらには政令市を目指していく必要があると考えています。その将来のまちの姿において、玄関口となるのは沼津駅であり、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業は、静岡県東部地域全体としても大変重要な事業であります。

沼津駅周辺総合整備事業の中核となる鉄道高架事業は、すでに、新車両基地の用地取得はほぼ完了し、鉄道高架本体の用地取得も着々と進んでおります。しかし、この事業を推進するためには、新貨物駅の用地取得が必要不可欠であります。このため、私は、市長に就任したその日から、新貨物駅用地の地権者宅を二軒一軒訪問し、また、昨年12月には地権者の皆様とはじめの話し合いを行うなど、全力で取り組んでまいりました。残念ながら、いまだ全ての地権者からご理解をいただくには至っておりません。このため、引き続き地権者の方とは、誠意をもって交渉を続けてまいります。この事業のスケジュールにこれ以上の遅れを生じないよう、昨年の9月議会でご議決いただいた、土地収用法第35条調査の予算を執行してまいります。

今後とも、沼津駅周辺総合整備事業の中核をなす鉄道高架事業の一日も早い完成に向け、静岡県とともに、懸命の努力をしてまいりますので、引き続き市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 車づくりは 街が丸となって!



## 現在、新貨物駅は事業が出来る所から進められています



国と県は沼津市を東部の中心として拠点整備をすすめています

富士山の南麓、奥駿河湾にある県東部地域は、日本列島の中央に位置しており、東海道ベルト地帯と国道246号を結ぶ交通の要衝と位置づけがされています。国や県は沼津市周辺に資金を投じ、県東部の中核都市として拠点整備を進めています。

これからの市街地は、人流・物流を大切にしたい街づくりを進め、豊かで住みやすい都市を目指していかねばなりません。中心市街地は、連続立体交差事業と市街地の再開発によって、鉄道の立体交差に合わせて都市計画事業を進め、人の流れを良くして安心・安全で暮らしやすい街にしていきたいです。



沼津駅周辺の整備イメージ図

### 原西部地区の 地域発展に寄与します

原西部地区は、海岸線より山裾までの土地に日本の主幹線(国道・東名・鉄道等)が通っています。連続立体交差事業の一環として整備される新貨物駅の建設を契機として、原西部地区に流通機能などが集まり、その波及効果による産業振興、地域の発展に寄与することが期待されます。

### 文化財の調査から

土木工事などの開発事業を行うにあたり、まず埋蔵文化財調査が事業者の義務付けられています。新貨物駅の用地も工事着手に向けて、用地の取得が済んだ所から県が順次埋蔵文化財調査を始めています。この地域には、古墳・奈良時代頃の土器等が出土しています。



新貨物駅の用地で進められている埋蔵文化財調査 (一本松)

## をスリムにして安全で快適なミチづくり・マチづくりに役立ってます

原西部地区(新貨物駅周辺)は  
これからこの様な整備に入ります



〈調整池・緑地イメージ図(一本松)〉(約15,200m<sup>2</sup>)

調整池・緑地(一本松地区)

洪水を防止する調整池に公園としての機能を付加し、緑地とともに周辺住民の方々の「憩いの場」として利用できるようにします。

調整池・緑地(桃里地区)



〈調整池・緑地イメージ図(桃里)〉(約8,200m<sup>2</sup>)



一本松の一部が整備されました

中道(東西道路)の整備

既存道路を再整備し、新たに歩道を付加することで、「安全」「安心」「快適」な移動空間になります。また住宅があるところには、「防音壁」を設置し、生活環境の向上や保全が図られます。現在、一本松地区内の約150m区間が、幅8mで拡幅整備され、使用されています。



〈アンダーパス整備イメージ図〉(一本松・桃里)

南北道路の整備

現在、鉄道を南北に横断する道路は、地域内の一本松に幅約17m、桃里に約1.8mの道路しかありませんが、車両がスムーズに通行できるように、車道と歩道を地下式で整備することにより、交通の「安全性」と「利便性」の向上が図られます。

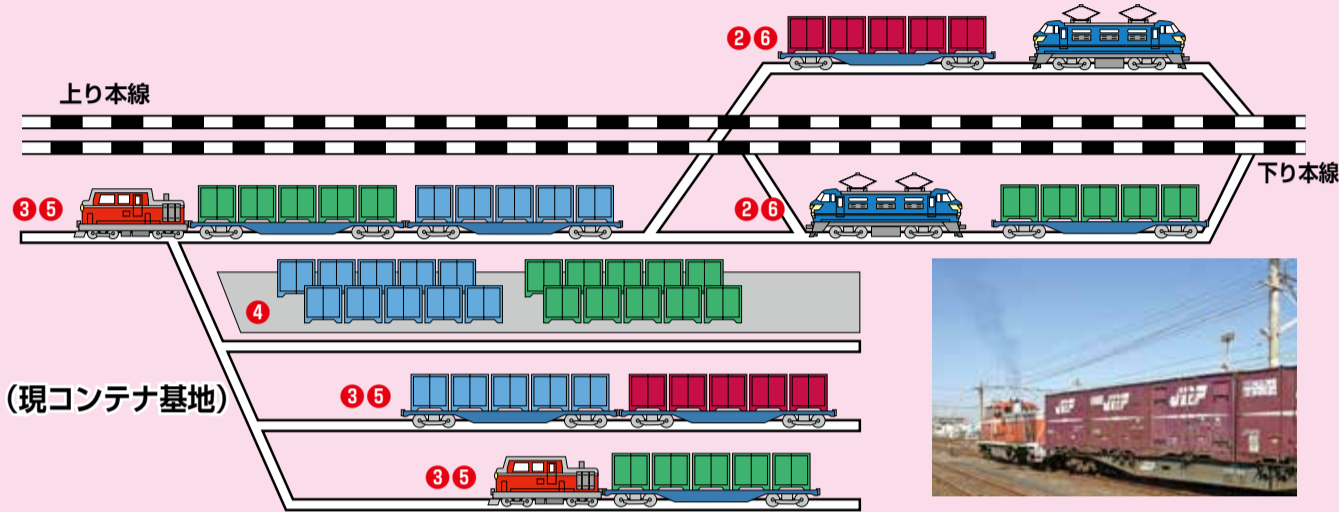
# 貨物駅の荷物の積みおろし(荷役作業)のシステムが変わり、スムーズに行われます

## 現在の貨物駅と新しい方式の新貨物駅を比べてみました

### 現貨物駅 (沼津駅周辺)

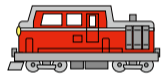
●複雑な配線と時間がかかる入れ換え荷役作業 (現在のコンテナ荷役作業)

①到着 → ②解放 → ③入換 → ④荷役 → ⑤入換 → ⑥連結 → ⑦出発



- 現在のコンテナ荷役作業では
  - ・解放・連結の音が発生します。
  - ・荷役作業が長時間かかります。
  - ・貨車の入換えに伴い、付近の踏切が閉まります。

- ②解放: 電気機関車から貨車を切り離し、ディーゼル機関車とつなぎます
- ③⑤入換え: 貨車のつなぎを換えます
- ④荷役: フォークリフトでコンテナを積みおろします
- ⑥連結: 貨車を連結し直しディーゼル機関車から切り離し、電気機関車につなぎます

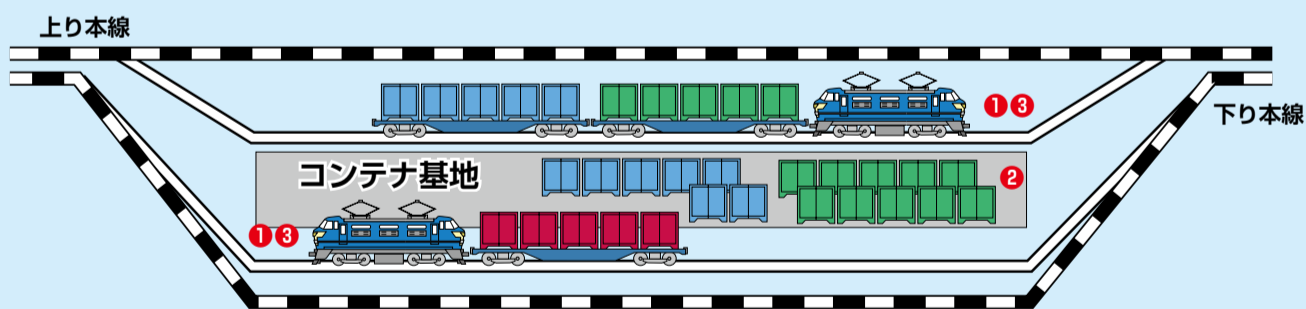


入換にディーゼル機関車を使用します

### 新貨物駅 (原西部地区)

●単純な配線と短時間で済む荷役作業 (新貨物駅のコンテナ荷役作業)

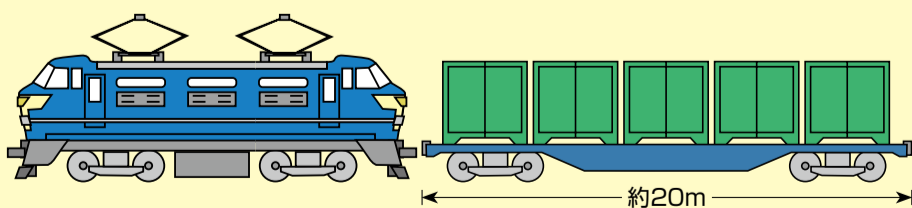
①到着 → ②荷役 → ③出発



- 新貨物駅のコンテナ荷役作業では
  - ・解放・連結の音がなくなります。
  - ・荷役作業が短時間で済みます。

- ②荷役: フォークリフトでコンテナを積みおろします

### 貨物駅はなぜ東西に長い用地が必要なのですか？



現在、東海道本線を走る貨物列車は、先頭の電気機関車と貨車(最大26両・1両約20m)で、全長約540m程度になります。また、貨物列車が停まり、出発するためには、東海道本線からコンテナ基地への導入線路も必要となるため、新貨物駅は東西に長くなります。

# 新しい沼津

## 市長・議会・市民



## マチの中心にある鉄道を

コンテナは到着したホームから直接フォークリフトで積みおろします



電気機関車で直接コンテナ基地へ



到着後、直接フォークリフトで積みおろし

会の動き

沼津駅の高架化を実現する市民の会は 鉄道高架事業(連続立体交差事業)の強力推進 早期実現に向けて種々の活動を展開しています

事業年度

平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日

一、会議の開催

(1) 総会
日時 平成二十年七月三日(木)
会場 ブケ東海沼津
内容 平成十九年度事業報告及び収支決算、平成二十年事業計画(案)及び収支予算(案)承認、役員改選について

報告
「沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況について」
沼津市 沼津駅周辺整備事務局



総会は約100人出席し満場一致

(2) 全体会議

第一回 街づくり講座

「駅北に新しい大きな取組みがあります」

日時 平成二十年九月九日(火)
会場 沼津商工会議所三階会議室
講演
「沼津駅周辺総合整備事業の概要」
沼津市 沼津駅周辺整備事務局

「東部コンベンションセンター整備事業について」
静岡県建設部 木村忠幸理事
木村忠幸理事からは、東部コンベンションセンターの会議室や展示イベント施設等の規模、機能、整備スケジュールを説明した。また、施設は利便性の高い施設となるように、指定管理者制度など運営管理の民



東部コンベンションセンターの機能・整備について

また、加藤裕孝局長からは、沼津駅周辺総合整備事業の概要を説明いただき、鉄道高架に先立つ車両基地移転用地の取得率が約99%、貨物駅移転用地の取得率が三分の二を超えている状況や、土地区画整理事業で一部の宅地造成が本年度完了するとの報告があった。

「国もすすめています 市街地の活性化を法的に」
日時 平成二十一年二月四日(木)
会場 沼津市民文化センター会議室
講演
「中心市街地活性化法」について
講師 (独) 中小企業基盤整備機構 中心市街地 サポートマネージャー 加藤 慎一郎 氏

中心市街地活性化基本計画については、総理大臣の認定となるため、経済産業省や国土交通省などの支援を集中的に受けることができることや、商店街の売り上げ増など具体的な数値目標を設定し、多様な民間主体の参画を得て、五年間をめどに計画を実現する必要があるとのことであった。

また、沼津としての特色を活かし、時代にあった新しい価値を作り出し、さらに大型店や若手アーティスト、農家など地元にあるもの同士を結びつけることが必要とのアドバイスを頂いた。

「沼津市における中心市街地活性化基本計画策定の取り組み状況について」

講師

沼津市中心市街地活性化プロジェクトチーム 間宮 一壽 氏
活性化計画の重点戦略として、うるおいとゆとりを感じる回遊性の高いまちづくり、コンベンションの振興、まちを楽しく快適にする多様な市民活動の推進を掲げ、鉄道高架化や商業地の魅力向上、沼津港周辺との連携などを通じて、交流人口の拡大と定住人口の確保を目指し、更には、中心市街地の歩行者増加や空き店舗減少、居住人口拡大などを数値目標としたことの説明を受けた。

(3) 正副会長会議の開催
平成二十年七月三日(木)
・総会提出議案の検討
事務局会議の開催

(4) 実施日・平成二十年六月二日(月)
・正副会長会議について
・総会について

二、視察見学会

(1) 視察見学会(第三回)
沼津駅の高架化・周辺整備事業の進捗状況視察見学会を実施しました。



官民いっしょに数値目標を設定してがんばれるぞ!

また、沼津としての特色を活かし、時代にあった新しい価値を作り出し、さらに大型店や若手アーティスト、農家など地元にあるもの同士を結びつけることが必要とのアドバイスを頂いた。

日時 平成二十年十一月十八日(火)
第一班 九・三〇〜一・一五〇
第二班 一・三〇〜一・五・五〇
ルート
キラメッセぬまづー七通線建設現場ー区画整理現場ー現車両基地ーあまねガードー再開発ビルーイーラde現コンテナ基地ー新車両基地予定地ー新貨物駅予定地ーキラメッセぬまづ
参加者 四〇名
参加者の声
・鉄道高架の大事業が多くの方の努力によって着々と進んでいることに胸が膨らみます。
・用地の買収がなかなか難しいようですが、着々と進んでいる工事の様子を見て、安心すると共に、沼津の未来のために頑張ってくださいと思います。
・沼津の発展のため、一刻も早く完成されたい。
・街づくりとして通過して終わることのない集客力の高いものを目指してほしい。
・想像していたよりも進捗していました。もっと広く市民に対して変化がわかるよう広報していった方がよいと思う。
・大きな事業に改めて驚きました。市民が一丸となって盛り上げていかなければと思います。
・百聞は一見にしかずを実感しました。鉄道が沼津の街を分断していること、片側一車線のガードが渋滞を引き起こしていることを多くの市民に伝えたい。その他早期実現を求める多くの声を頂きました。



新貨物駅予定地を見学しました

三、要望・活動等

事業の強力推進・早期実現を新市長・市議会へ要望しました

(1) 栗原沼津市長・市議会正副議長・市議会沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会委員長への要望書の提出
平成二十年十二月九日(火)
沼津駅鉄道高架早期実現に向けての要望書(左掲)を提出
参加者 会長・副会長・常任委員・事務局



栗原市長に後藤会長から要望

要望書

「沼津駅の高架化を実現する市民の会」は、まさに活気が溢れ、人が活き活きと暮らせる沼津を目指す多くの市民により結成され、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の早期実現のために、関係機関への陳情や、市民啓発活動などを展開しております。

さて、これまでの沼津市は地理的、経済的交流の拠点都市、更には県東部の中心都市として発展してきました。しかし、昨今における少子高齢化社会の中であって、地域間競争は今後ますます激しくなってくるものと予想されます。

このような状況に対応するために沼津市では沼津駅周辺総合整備事業を進め、現在、沼津駅の北口にはシネマセンター等の入ったBiviがオープンし、南口には再開発ビル(イーラde)が今年の三月にオープンしました。また、三年以内には駅の北口に東部コンベンションセンターや、総合展示施設が完成することになっており、これらの整備により都市機能が一層

高められ、県東部の中核都市としてさらに発展していくものと期待しております。

鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業は、南北の慢性的な交通渋滞の解消と、鉄道により南北に分散された市街地を一体的かつ高度に土地利用し、魅力ある中心市街地の再生と静岡県東部の拠点都市の形成を図るとともに、沼津駅周辺にとどまらず沼津市全体へ事業効果を広げる、総合的なまちづくりとして、長年にわたり推進されてきました。

特に、鉄道高架事業は事業主体である静岡県をはじめ、沼津市や沼津市議会、そして関係機関の事業の早期実現に向けた様々なご努力により、鉄道高架事業は平成十八年度に高架本体の事業認可を受けて、実施可能などから事業が進められておりますが、新貨物駅の用地取得が遅れている状況にあります。

かけがえのない私達の子供や子孫の将来に夢をさせ、沼津のまちを愛し、まちの発展を願う多くの市民を代表し、私達は鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の推進に不退転の決意で取り組むとともに、全力で支援してまいります。

市長及び市議会におかれましては、沼津市の将来と、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業の早期実現に向け、なお一層のご配慮を賜りますよう強く要望致します。

(2) 関係機関への陳情

平成二十一年二月九日(月)
沼津駅付近鉄道高架建設促進期成同盟会では、沼津市長・清水町長・長泉町長・周辺市町の代表・沼津市議会議長・沼津市議会沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会委員長・市民の会会長らが静岡県知事、国土交通省本省を訪ね、鉄道高架事業の一層の推進を要望しました。

四、広報啓蒙活動

(1) 広報紙「かけはし」(平成二十一年三月三十一日) 第二四号の八万五千部発行